

がん遺伝子パネル検査受診のための検体についてのご案内

(保険診療による検査について)

現在のがん遺伝子パネル検査は、検査の同意書をいただいてから、検体を準備し発送し、検査の結果が出るまでに、約 1 ヶ月程度の期間を要します。がんゲノム医療拠点病院（埼玉県立がんセンター）とがんゲノム医療連携病院（当センター）とのがんゲノム診断カンファレンス（エキスパートパネル）を経て結果を患者さまへお返しするまでには 1 ヶ月半～2 ヶ月程度かかります。

エキスパートパネルの結果、標準治療ではない薬剤のご提案が可能であっても保険適応外となるため、臨床試験の検索を含め薬剤使用の可能性について様々な議論を行います。そのため、検査を受けられるお子さんは、少なくとも 3 ヶ月以上の予後を見込める方となります。

検査に必要な検体の準備ができない方、厳しい予後予測の方など、がんゲノム検査が不可能であると判断される場合は、その旨をご担当の先生からご説明をお願いいたします。

当センターで施行している検査は下記の 2 つとなります。必要な検体について下記のとおりです**。

1. Foundation One CDx がんゲノムプロファイル

- 手術、生検検体どちらも可能、腫瘍部のみで検査可能
- 腫瘍部 HE 染色標本と未染スライド（HE：2 枚、未染スライド：10 枚*）

*未染スライドは検体の表面の面積が 25mm²以上、厚さ 4-5 μ m で 10 枚（生検検体の場合、合計体積が 1 mm³以上になるようにスライド枚数を増やしてください）

2. OncoGuideNCC オンコパネルシステム

- 手術、生検検体どちらも可能（FFPE は腫瘍検体のみ、正常部は血液検体）
- 腫瘍部 HE 染色標本と未染スライド（HE：2 枚、未染スライド：10 枚*）

*未染スライドは検体の表面の面積が 25mm²以上、厚さ 4-5 μ m で 10 枚（生検検体の場合、合計体積が 1 mm³以上になるようにスライド枚数を増やしてください）

また、下記の場合も検体不良となるため検査ができません。

- 脱灰した標本（骨転移腫瘍や原発性骨腫瘍など）
- 中性緩衝ホルマリン以外の緩衝作用のないホルマリンや酸性ホルマリンで固定された標本
- ホルマリン固定時間が長い（48 時間を超える）標本
- ホルマリン固定後 3 年以上経過している標本
- 過去に受けた放射線治療の照射範囲に含まれていた組織の標本

**がん遺伝子パネル検査に検体を提出する前に、病理診断と適切な検体であるかどうかを当センター病理診断科にて確認させていただいてから、検査に必要なスライドの枚数をお知らせいたします。主治医の先生から病理診断に用いた標本（HE 染色標本、免疫染色標本すべて）と病理診断報告書のコピーを外来受診の 2 週間前までにお送りください。お借りした標本は外来受診時に返却いたします。

ご不明な点がございましたら、下記にご連絡ください。

<お問い合わせ>

埼玉県立小児医療センター病理診断科 〒330-8777 埼玉県さいたま市中央区新都心 1-2
TEL 048 (601) 2200